

足立敏之参議院議員のご講演会及び意見交換会要旨

一大島連盟会長挨拶

CE 連盟は平成 13 年設立時には会員が 900 名ほどだったが、皆様のご支援とご理解のおかげで 2500 名に届こうかというところまでできました。

皆様のご支援とご理解のおかげです。

例年、佐藤議員、足立議員と建コン協本部との意見交換会を実施してきましたが、全国のご要望もあって各支部とも意見交換会しようということで、一昨年に、近畿支部と行い、・今年は関東支部との意見交換会を実施することになりました。

本日、佐藤先生は所要によりビデオ出演となりますが、足立先生との意見交換会を楽しみにしております

一足立敏之参議院議員講演 「ウイズコロナ時代の新たな国土づくりに向けて」

最近の主に「品確法の改正」「建設産業再生のための施策の実施」「インフラ整備の推進と公共事業予算の確保」に取り組んでいる。

日本では、毎年大災害が発生しているが、インフラはとても脆弱である。今年の球磨川水害は、民主党政権下で川辺川ダムが中止となったためであり、河川整備計画を担当していた者として責任を感じている。直下型地震は一刻の猶予もない状況だ。

日本湖高速道路は 4 割が対面交通（2 車線）だが、海外では 4 車線が多い。

日本の公共投資は少なく、コロナの影響下では、公共事業による下支えが必要だ。

建設分野のデジタル化を進めて、建設産業をより高度な産業にしていく必要がある。

一意見交換会

国土強靱化緊急 3 ヶ年対策後について、継続への自治体の長からの要望が出ており、財務省の説得がカギである。

デジタル化は、BIM、CIM 等韓国、中国に負けており、国交省はもっと投資すべきだ。

国際競争に勝つためには 4 車線化などの基盤整備が重要であり投資していくべきだ。